資　料　編

目　　　次

資　料　編

第１節　本市の概況 1

１．気候 1
２．人口 1
３．交通アクセス 2
４．観光状況 3
５．災害履歴・ハザードマップの状況 4
６．市内体育施設（室内競技）の一覧 5

第２節　意向調査 6

１．市民アンケートの実施 6
２．利用団体へのアンケートの実施 10

第３節　東光スポーツ公園基本計画 14

１．東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）（H28.4）の概要 14

第４節　ヴォレアス北海道ホームゲーム　状況調査 17

第１節　本市の概況

１．気候

本市は，最も暖かい8月の平均気温が21.2度，最も低い1月の平均気温が氷点下7.0度となっており，その差（年較差）は28.2度に達し，北海道内の都市の中でも寒暖差が大きく，四季の変化に富んだ街と言えます。

また，1日の温度差も大きいことが，本市の特色の一つとなっています。

２．人口

15～64歳人口は，1989年（H元年）の 256,477人をピークに現在まで減少が続いており，2019年には 186,431人となっています。

65歳以上人口は，1981年（S56年）（27,077人）から現在まで増加が続いており，2019年には 112,016人となっています。15歳未満人口は，1981年（82,847人）から現在まで減少が続いており，2019年には 36,248人となっています。15歳未満人口は 1996年（H8年）に 54,198人，65歳以上人口が 55,103人となり，65歳以上人口を下回りました。

令和6年9月1日現在の人口は，総人口 317,319人，15歳未満 31,441人，15～64歳 173,633人，65歳以上 112,245人となっています。

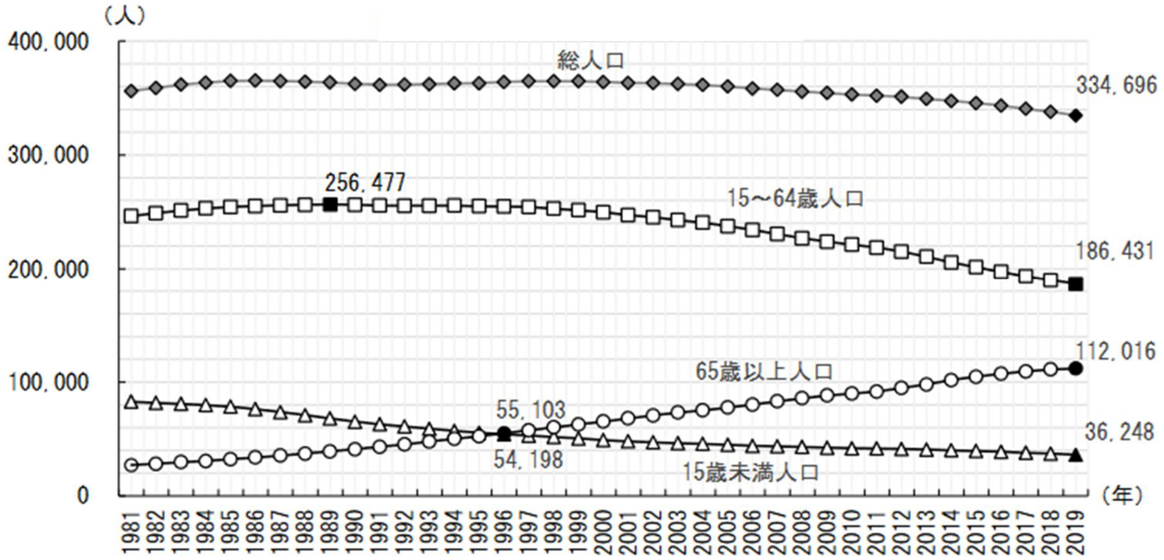


図 1-1　年齢３区分人口推移（旭川市人口ビジョンより）

また，「旭川市人口ビジョン」では，2060年までの人口推計を行っており，将来的な人口減少が見込まれている状況です。

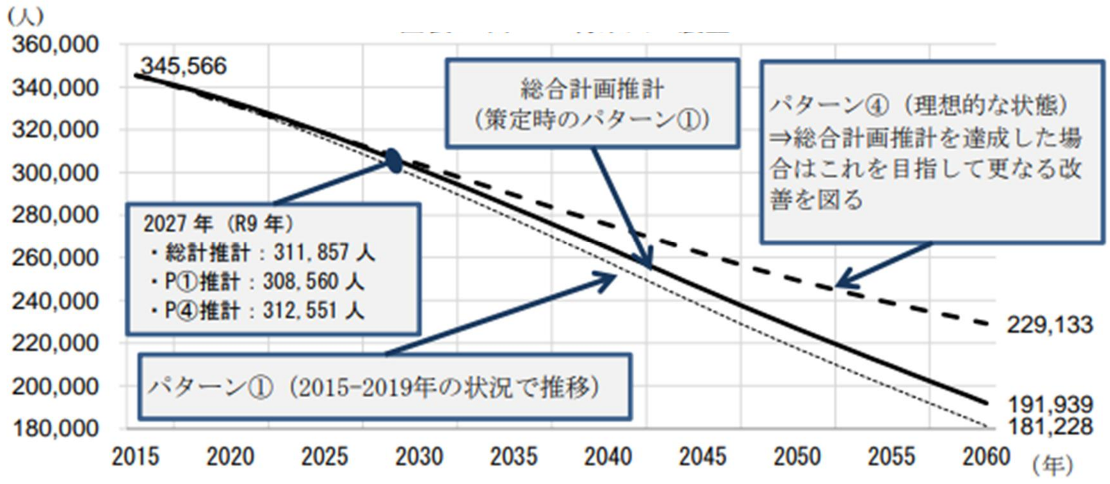


図 1-2　将来人口展望（旭川市人口ビジョンより）

３．交通アクセス

本市と札幌市間の所要時間は，鉄道で約1時間30分（ほぼ1時間間隔で運行），自動車で約3時間，バスで約2時間15分（1日に37往復）となっています。

旭川駅と旭川空港間の所要時間は車で約30分，定期バスで約40分です。東京・旭川間の所要時間は約1時間40分（1日7往復）となっています。

また，鉄道4路線及び路線バスが市内外を網羅的に運行しており，郊外部においては，区間運航として東旭川の米飯地区でデマンド型交通が，豊里地区にて定時・定路線型のセミデマンドバスが運行しています。

４．観光状況

2015年～2024年までの10年間で，最高入込客数は2017年の5,310千人であり，2021年～2022年のコロナ禍には，減少したものの，コロナによる規制が緩和された2023年以降からはコロナ流行前の数値へ回復傾向にあります。

宿泊延数，外国人宿泊延数は観光入込客数にほぼ比例して推移している状況です。

また，現総合体育館をホームアリーナとする，SVリーグ所属の男子バレーボールチーム「ヴォレアス北海道」は，2023年10月のホーム開幕戦では，過去最多1829人を動員しています。また，2023年2月に開催されたサフィルヴァ北海道vsヴォレアス北海道では，V2男子リーグでも最多の約2000人を動員しており，北海道バレーボール界の賑わいにも期待ができます。

チーム等では，市内のパートナー企業の訪問をセットとした試合ツアー（Iターン・Uターン）や旭川市の人気観光「旭山動物園」，「あさひかわラーメン村」，「カムイスキーリンクス」等のチケットとセットにした試合チケットの販売等も精力的に行っており，観光面での相乗的な効果が期待されます。

表 1-1　旭川市　観光入込客数の推移（千人）

	2015 H26	2016 H27	2017 H28	2018 H29	2019 H30	2020 R1	2021 R2	2022 R3	2023 R4	2024 R5
観光入込客数	5,350.0	5,530.0	5,310.0	5,357.0	5,270.5	5,079.3	1,700.3	1,601.6	4,135.3	4,735.0
宿泊延数	744.4	807.2	857.1	935.6	1,083.1	905.8	403.2	379.4	672.8	974.2
外国人宿泊延数	86.2	152.2	188.4	205.8	244.5	241.3	1.4	1.0	48.6	211.1

※令和５年度観光客入込状況（通年）：旭川市観光スポーツ部観光課

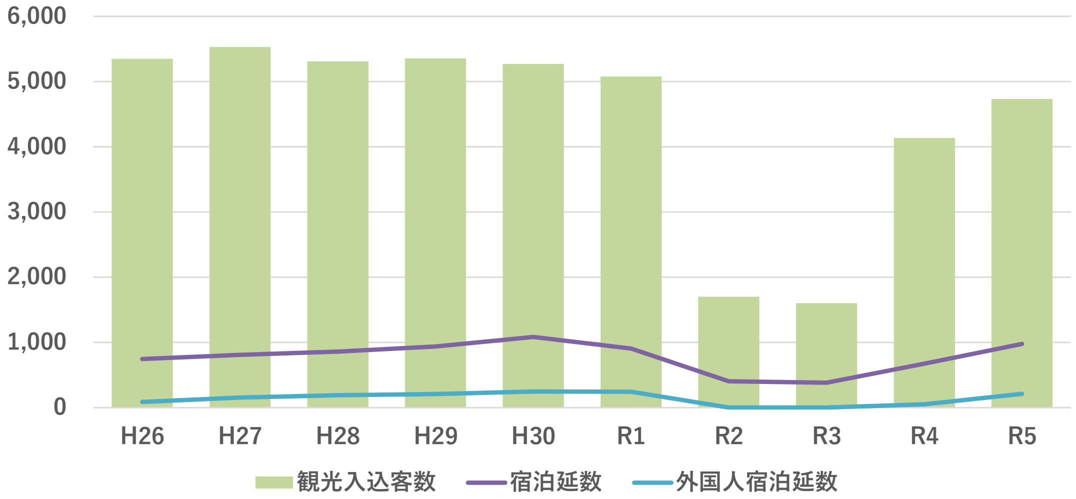


図 1-3　旭川市　観光入込客数の推移（千人）

５．災害履歴・ハザードマップの状況

本市は地震の発生が極めて少ない地域であり，過去に発生した地震で市域に人命や住家に被害を生じた記録は認められていませんが，平成30年北海道胆振東部地震では，市内全域が停電しました。

風水害は，昭和45年や昭和56年の水害，平成16年の突風，近年では平成28年8月の三つの台風の連続上陸，平成30年7月豪雨など，度々被害が発生しています。また，交通環境の悪化など，大雪が市民生活に影響を及ぼしています。

また，洪水ハザードマップにおいて，花咲スポーツ公園は0.5m以上～3.0m未満の浸水，東光スポーツ公園は浸水の想定なしとなっています。

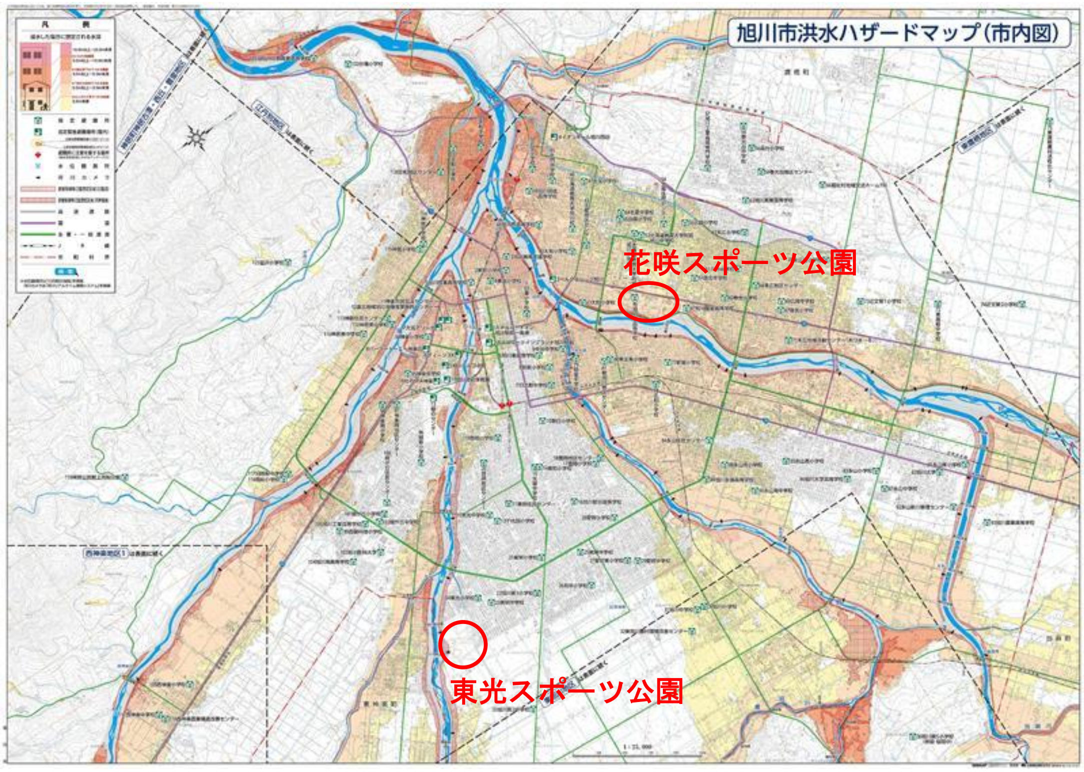


図 1-4　洪水ハザードマップ（旭川市）

６．市内体育施設（室内競技）の一覧

市内に立地する体育施設（室内競技用）は以下のとおりです。

表 1-2　市内体育施設（室内競技）

施設･公園名	所在地	建設年度	種目
旭川市総合体育館	旭川市花咲町5丁目	1979年度	バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球・テニス（冬期間のみ）・体操
大成市民センター体育館	旭川市近文町15丁目	1980年度	卓球・バドミントン
旭川大雪アリーナ	旭川市神楽4条7丁目	1986年度	スケートリンク 夏期種目：バスケットボール・バレーボール・テニス・バドミントン・卓球
旭川勤労者体育センター	旭川市6条通4丁目	1980年度	バレーボール・バドミントン・卓球・バスケットボール・テニス
旭川市東地区体育センター	旭川市豊岡2条5丁目	1992年度	バスケットボール・ミニバレーボール・バドミントン・卓球
忠和公園体育館	旭川市神居町忠和	1996年度	バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球
旭川市近文市民ふれあいセンター	旭川市近文町15丁目	1996年度	バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球
旭川市障害者福祉センター	旭川市宮前1条3丁目3番7号	2001年度	車いすバスケットボール，フロアバレーボール等
旭川市総合防災センター	旭川市東光27条8丁目	2008年度	バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球3台

第２節　意向調査

１．市民アンケートの実施

市民の意向を把握するため，「市政モニター制度」を活用したアンケート調査を実施しました。

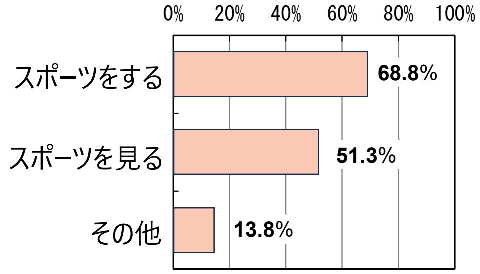
表 1-3　調査概要

	内　容
調査期間	令和6年9月10日（火）～令和6年9月23日（月）
調査対象	市政モニター登録者 228人
回答者数	135人（回答率 59.2%）

（１）利用目的

現総合体育館では，利用者の内，68.8%が自身の「スポーツをする」際に利用し，51.3%が「スポーツを見る」際に利用しています。

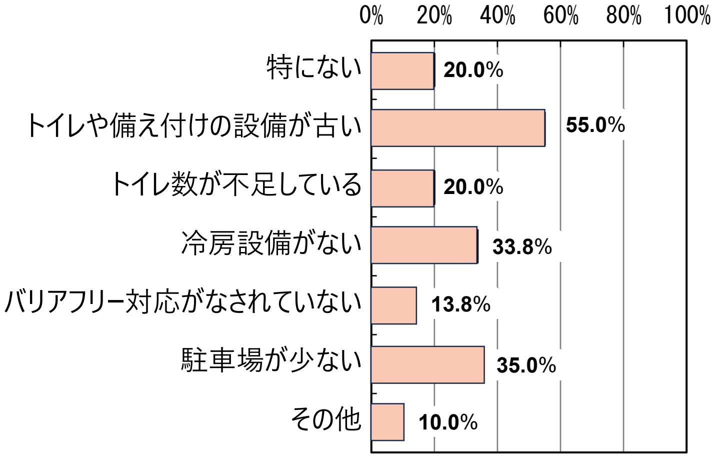
		回答数	回答率	構成割合
1	スポーツをする	55	68.8%	51.4%
2	スポーツを見る	41	51.3%	38.3%
3	その他	11	13.8%	10.3%
合計（有効回答）		107	133.8%	100.0%



（2） 利用にあたり不便な点

利用にあたり不便な点としては，「トイレや備え付けの設備が古い」が55.0%と最も多く挙げられ，次いで「冷房設備がない（33.8%）」，「駐車場が少ない（35.0%）」が挙げられました。

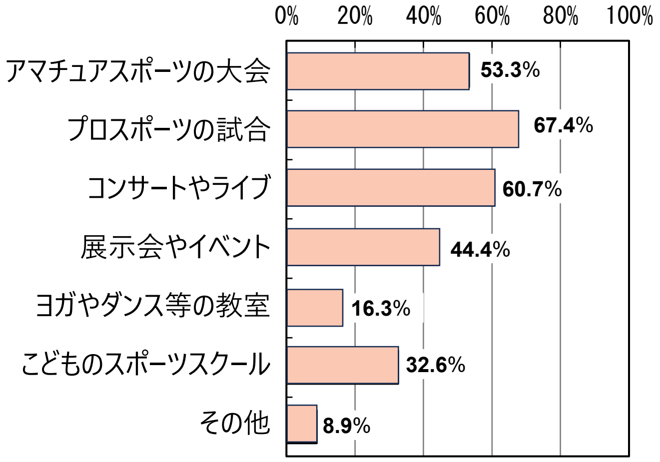
		回答数	回答率	構成割合
1	特にない	16	20.0%	10.7%
2	トイレや備え付けの設備が古い	44	55.0%	29.3%
3	トイレ数が不足している	16	20.0%	10.7%
4	冷房設備がない	27	33.8%	18.0%
5	バリアフリー対応がされていない	11	13.8%	7.3%
6	駐車場が少ない	28	35.0%	18.7%
7	その他	8	10.0%	5.3%
	合計（有効回答）	150	187.5%	100.0%



（３） 新アリーナに期待する利用方法

新アリーナに期待する利用方法としては，「プロスポーツの試合」が67.4%と最も多く挙げられ，次いで「コンサートやライブ（60.7%）」，「アマチュアスポーツの大会（53.3%）」が挙げられました。

		回答数	回答率	構成割合
1	アマチュアスポーツの大会	72	53.3%	18.8%
2	プロスポーツの試合	91	67.4%	23.8%
3	コンサートやライブ	82	60.7%	21.4%
4	展示会やイベント	60	44.4%	15.7%
5	ヨガやダンス等の教室	22	16.3%	5.7%
6	こどものスポーツスクール	44	32.6%	11.5%
7	その他	12	8.9%	3.1%
	合計（有効回答）	383	283.7%	100.0%
	回答者数	135		



（4） スポーツ公園内に賑わいを創出するために望まれる施設や空間

スポーツ公園内に賑わいを創出するために望まれる施設や空間としては，「運動・健康」面での利用に関するものや「飲食・物販」機能の充実，「こども向け」機能の充実等の意見が挙げられました。また，立地面を踏まえ，駐車場や公共交通手段の確保に関する意見も見られました。

	主な意見
運動・健康	・ウォーキング，ランニングコースの充実 ・ウインタースポーツ施設（雪合戦，クロスカントリー等） ・冬季等に屋内で運動が出来る施設
公園・設備	・日陰，ベンチ等の休憩スペースの確保 ・野外イベントスペース
飲食・物販	・カフェや飲食店，キッチンカースペース ・売店の充実
こども向け	・こども用施設の充実 ・屋内型の遊戯施設
交通・駐車場	・駐車場の充実 ・旭川駅等からの公共交通手段の充実

（5） 市民アンケート結果の総括

市民アンケートの結果以下の課題や要望が確認されました。これらを踏まえて，本計画において，課題解消や機能充実を図ることを検討しています。

	主な意見
利用にあたり不便な点	・老朽化した設備の改善や駐車台数の充実を求める意見が多い結果となった。
新アリーナに期待する利用方法	・プロスポーツやコンサート，ライブでの利用を望む意見が多く，「観る」機能に対する施設整備への期待の高い結果となった。 ・一方で，アマチュアスポーツ大会の開催を望む意見も見られた。
望まれる施設や空間	・ウォーキング，ランニングコースの充実 ・ウインタースポーツ施設（雪合戦，クロスカントリー等） ・冬季等に屋内で運動が出来る施設 ・日陰，ベンチ等の休憩スペースの確保 ・野外イベントスペース ・カフェや飲食店，キッチンカースペース ・売店の充実 ・こども用施設の充実 ・屋内型の遊戯施設

２．利用団体へのアンケートの実施

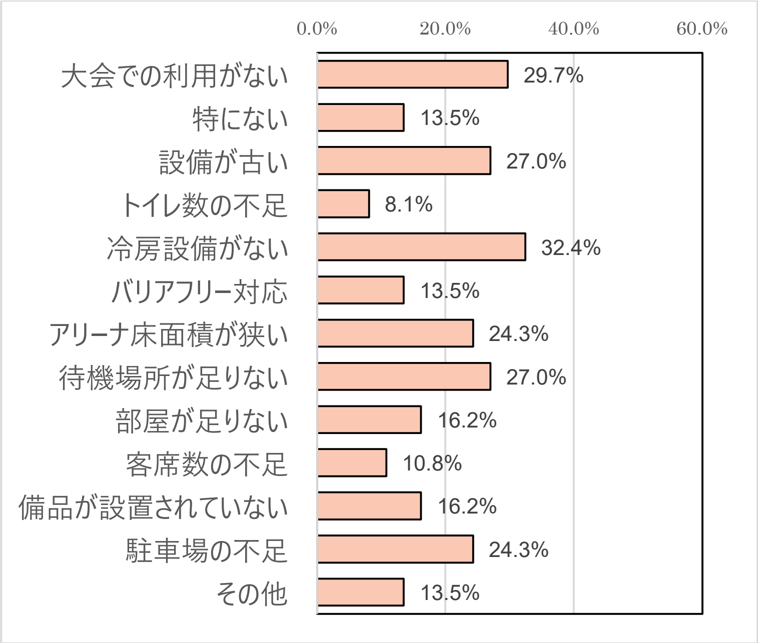
基本構想で設定した想定施設機能・規模等に対して，実際に利用が想定される団体の意向を反映し，利用実態に合った施設計画とするため，現総合体育館を利用する市内のスポーツ団体等へのアンケートを実施しました。

アンケートで把握したニーズ等を踏まえ，新アリーナの整備に向けた基本計画の策定にあたって配慮の必要がある事項を以下に整理します。

（1） 大会利用上の不便な点

現総合体育館での大会利用における不便な点では「冷暖房設備がない」が最も多く，32.4％となりました。次いで「設備が古い」「待機場所が足りない」が27.0％と，「アリーナ床面積が狭い」「駐車場の不足」が24.3％と多くの団体が不便に感じているという結果でした。「その他」には，競技コートのラインがないことや，諸室や廊下等のスペースが狭いといった意見が寄せられました。

		回答数	回答率	構成割合
1	大会での利用がない	11	29.7%	11.6%
2	特にない	5	13.5%	5.3%
3	設備が古い	10	27.0%	10.5%
4	トイレ数の不足	3	8.1%	3.2%
5	冷房設備がない	12	32.4%	12.6%
6	バリアフリー対応	5	13.5%	5.3%
7	アリーナ床面積が狭い	9	24.3%	9.5%
8	待機場所が足りない	10	27.0%	10.5%
9	部屋が足りない	6	16.2%	6.3%
10	客席数の不足	4	10.8%	4.2%
11	備品が設置されていない	6	16.2%	6.3%
12	駐車場の不足	9	24.3%	9.5%
13	その他	5	13.5%	5.3%
	合計（有効回答）	95	―	100.0%
	回答者数	37		



「13.その他」の内容
・選手が準備運動，アップする場所がない。
・競技用のラインが床に貼られていない。（２団体）
・会場使用の申込みや決定時期を大会規模順に早く決定してほしい（前年度末までに）。
・コピー室が狭い，食堂もう少し広く，テーブル，椅子を多く，開設時間を長く，コートの表示をもう少し細かく（A～L)できるようにしてほしい。
・サイドスペースやコート間のスペースが不足している。
・現在のアリーナ規模と運用時間では，参加人数によって，ゲーム数や練習時間の短縮,チェンジコートの省略が必須となっている。

（２） 大会開催意向

東光スポーツ公園の複合体育施設（以下この節において「東光複体」という。）が整備されることを前提として，東光複体が整備された後でも，新アリーナで開催したい大会等の意向について確認しました。

各団体からは大会の規模により東光複体だけでは開催できない大会のほか，「必要な備品，設備がある」「大会規模に対応した施設規模」から大会開催したいという意向がありました。今後，東光複体の整備内容の説明をしていくほか，新アリーナでも一定数の大会開催を想定することが必要です。

（３） 大会運営上，必要な部屋

大会運営にあたり，必要な部屋やスペース（選手更衣室，大会運営本部室，審判控室，観客席を除く）について確認したところ，以下の内容が挙げられました。専用諸室としての整備だけでなく，諸室の併用などを検討し，効率的な施設計画を目指す必要があります。

大会運営に必要な主な部屋，スペース等
・メディア対応諸室
・室内練習スペース
・各種更衣室，控室（選手が一斉に更衣可能な規模※150～200 名程度，女性用，審判用），シャワー室
・大会運営本部室，放送室，来賓室
・審判・ボランティア控室，ミーティングスペース，医務室，救護室

（４） 大会運営上，動線等での配慮事項

大会運営にあたり，動線等での配慮事項について確認したところ，以下の内容が挙げられました。プロスポーツのホームアリーナとして対応が必要な内容も含め，実際の運用方法を見据えた計画とする必要があります。

各諸室間や外部からの動線等で配慮すべき主な事項
・選手・観客の動線分離（施設内への出入口の分離等）
・資機材・備品等の搬入経路の確保（複数経路の確保等）
・アリーナから観客席へ直接移動できる経路
・大会運営本部からアリーナまでの動線確保

（5） 希望する機能やスペース等

大会等を開催する際に，競技以外の部分で希望する機能やスペース等について，確認したところ，以下の内容が挙げられました。

競技に関わる以外で希望する主な機能やスペース等
・飲食スペース（販売，食事），売店・物販スペース
・資機材保管スペース
・キッズスペース（幼児室），授乳室
・駐車場の拡充

第３節　東光スポーツ公園基本計画

１．東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）（H28.4）の概要

（１） 東光スポーツ公園の概要

誰もが身近に自然と触れ合いながらスポーツ・レクリエーションが行えるよう，本市の東側に計画された旭川市第２の運動公園です。公園内には旭川市総合防災センターもあり，防災公園としての役割も持っています。

- 場所：　東光21～27条7丁目，
  東光22～27条8丁目，
  東光23～27条9丁目
- 全体面積：　約43.8ｈａ

- 基本理念：　「スポーツを日常的で身近なものにする」
  「誰もがスポーツを楽しむ機会を増やす」
  「スポーツ交流の機会を増やす」
- 整備テーマ：　より身近に，より楽しく，より健やかに
- 計画施設：

施設名	施設概要
複合体育施設	体育館と武道館機能をあわせた施設

（２） 複合体育施設の機能整理

① 整備の基本方針

- **体育館**

  北国旭川において屋内スポーツを積極的に促進していくための主導役となる体育館を整備します。整備規模は，市民が多種のスポーツ・レクリエーション活動をゆとりを持って行える規模を確保するとともに，各種スポーツの大会誘致が可能な規模とし，床面積約2,800㎡，観客席は，プロの試合の誘致も想定し仮設なども含めて約5,000席を確保します。

  小体育館を整備し，体育館と連動させることで規模の大きな大会開催の実施と市民スポーツ・レクリエーションの利用も図っていきます。

- **武道館**

  武道の推進とそれに伴う心身の向上を目指し，武道館を整備します。整備規模は，日常の練習や地域の大会が開催できるよう，床面積約1,100㎡を確保します。日常の練習時には，利用の状況に合わせて分割利用ができるようにしていきます。

- **トレーニング室**

  気軽にスポーツを楽しみたい，健康づくりに取り組みたいという市民ニーズに応えるため，また，競技スポーツを行う人のトレーニングのため，トレーニング室を整備します。レクリエーションおよび各種競技のための基礎体力づくりに対応したトレーニングマシンを導入し，また，トレーニングやスポーツで疲労した体を癒せるリラクゼーション設備も導入します。

- **その他施設**

  東光スポーツ公園の中心施設として，パークゴルフ場などの屋外施設の利用者やスポーツ以外での公園利用者が気軽に利用できるレストコーナーを導入します。また，様々な年齢層が利用できる施設として，小さなこどもが利用できる幼児室を整備します。

（3） 基本計画

① 施設計画

各諸室の施設計画は次のとおりとなります。管理部門については，整備手法によって配置や規模の検討を行っていきます。

	室　名　等	施　設　計　画
体育館	体育館	床面積　約2,８６０㎡（65m×44m） 天井高12.5m以上 【比較施設：総合体育館メインアリーナ1,812㎡の約1.5倍】
		2階観客席(約2,000席）+移動席，仮設席で5,000席を確保
	更衣室・シャワー室・トイレ	男性用，女性用それぞれに身障者用を設置
	選手控室	同規模施設（約150㎡）を参考とし 2～3室に分割できるよう計画
	審判室，役員室，放送室等	同規模施設を参考として設置
	下足室	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	同規模施設を参考として計画
	ランニング走路	延長約250m，２人がすれ違える幅
小体育館	小体育館	床面積　約950㎡（38m×25m）天井高12.5m以上 【比較施設：大成市民センター体育館1,051㎡より若干狭い】 観客席約200席を確保
	更衣室・トイレ	男性，女性を個別に設置し，身障者利用も想定
	下足室	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	同規模施設を参考として計画
武道館	武道館	床面積　約1,100㎡（４４m×25m） 3室に分割できるよう計画 【比較施設：大成市民センター体育館1,051㎡と同程度】
	更衣室・シャワー室・トイレ	男性，女性を個別に設置し，身障者利用も想定
	的場	同規模施設を参考として計画
	控室	同規模施設を参考として計画
	下足室	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	同規模施設を参考として計画
管理部門	管理事務所，医務室，警備室等	総合体育館及び同規模施設を参考にして計画
	幼児室	総合体育館（84㎡）を参考にして計画
	レストコーナー・売店	約200㎡
	男子・女子・多目的トイレ	同規模施設を参考として個別に計画
	会議室・研修室	それぞれ150人程度の収容を想定 ２室に分割を計画
	トレーニング室	総合体育館（341㎡）を参考として計画
	備蓄倉庫	計画
	ホール	計画
	その他	―

第 4 節　ヴォレアス北海道ホームゲーム　状況調査

（1） 概要

実施日：　令和 6 年 10 月 19 日（土）

（サントリーサンバーズ大阪戦（ホーム開幕戦））

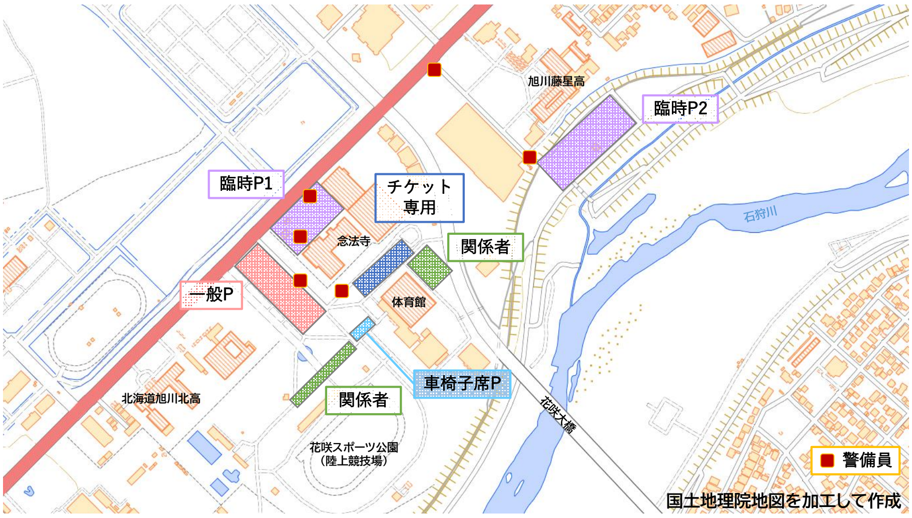
時間帯：　13:35　試合開始

（12:50 開演　／　15:26 終了）

入場数：　2,069 人

（入場方法　10:00 一次入場，10:15 二次入場，10:30 一般入場）

駐車場：



（2） 駐車場・会場状況

駐車場状況：　・一般 P（225 台）

＞10:30～11:00 には満車の状態

・チケット専用（60～70 台＋バスエリア）

＞開演前に 9 割程度

・臨時 P 1 （約 80 台）

＞開演前にほぼ満車

・臨時 P 2 （約 250 台）

＞開演前に 5 割程度

・車椅子席 P

＞数台利用有

会場状況　：　【開始前の状況】

・チケットは完売

・一般Ｐが早々に満車となり，以後警備員により臨時Ｐへの案内に切り替えていたが，一部近隣商業施設に流れた模様

・一般車やタクシーの送迎も一定数有り

・バス利用者も一定数あり

【終了後の状況】

・警備員により交通整理を行い出庫までの滞留は公園内で見られたものの，他の利用時とも大差なし

・路線バスの乗車待ちが発生

（３） 考察等

- 駐車場容量としては臨時も含めて600台以上確保できており，2,000人程度の入場者数であれば余裕がある状況であった。降雪期はスペースが限られるため，除雪や臨時の確保も含めて対策が必要。
- 臨時Ｐへの案内がうまく機能していない状況が見受けられたため，事前周知の在り方を検証し，その徹底を図り，混雑が予想される日程によっては周知等の協力体制が必要。
- 一般Ｐ内の車路で警備員が臨時Ｐへ誘導していたが，混雑解消のため，ＳＮＳの活用や一般Ｐ入口付近での表示等により，公園内に入らず臨時Ｐへ誘導できる体制が望ましい
- 一般車やタクシーの送迎についての乗降スペースが設けられていなく，タクシーが入り口前まで進入し，歩行者との輻輳が見受けられたため，スペースを指定するなど事前に対応することが望ましい